

伊丹市立市民まちづくりプラザ指定管理者選定に係る  
サウンディング型市場調査実施結果

1 参加事業者数 3者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

○管理運営事業全体についての意見・提案	
①事業者から見た施設のポテンシャルと課題について	
	・複合施設内の貸室のバリエーションや公園との隣接など、周囲の環境に恵まれていて、ポテンシャルが高い。
	・中心市街地に位置しているわけではないため、周知拡大やPRが必要。
②応募するための条件と課題について	
	・判断の基準がプレゼンに偏っているように感じる。書類とプレゼンを個別に評価するなど、工夫があってもよいのではないか。
	・委員の立場や考え方を反映した評価を実施するため、各委員の裁量で評価の対象を決める採点項目を設けるなど、委員ごとに特色が出るよう工夫してはいかがか。
	・自主事業や有料講座など、指定管理者が収入を得られる環境を整備する必要がある。
③ノウハウを活用したサービスの向上について	
	・既存団体の活動状況の確認を実施したうえで、行政や教育施設、企業、企業支援団体等との連携を強化し、登録団体と各セクターとの協働をコーディネートする機能を向上する。
	・地域団体の活動を企業と繋げることで、コミュニティビジネスや社会起業の舞台を整備する。
④効果的・効率的な管理について	
	・カレンダーやスプレッドシートを共有し、柔軟に業務体系を構築することで、効果的・効率的な管理業務を形成する。
	・オンラインでの相談対応を行うことで気軽に専門家相談ができる体制を構築する。

伊丹市立市民まちづくりプラザ指定管理者選定に係る  
サウンディング型市場調査実施結果

## ○市が特に検討したい内容についての意見・提案

### ①人員配置について

- ・常時2名の職員が勤務している状態が望ましい。1人で勤務する、いわゆる「ワンオペ」の状態は、労働環境の整備の観点から回避したい。
- ・常に窓口には人員を配置するのではなく、連絡先の掲示や相談の事前予約制を導入して地域に繰り出すようにしたい。
- ・経験豊富な人員と伊丹で新規に採用する人員を1名ずつ配置したい。
- ・専門性の高い相談や大規模なイベントなどは本部で対応・企画し、伊丹に持ち込みたい。
- ・本部での労務管理や相談対応、企画立案に係る人件費についても予算に組み込む必要がある。

### ②指定期間について

- ・雇用の安定性と人件費や物価の高騰リスクを天秤にかけることになる。物価の上昇を見込んだ予算を組めるのであれば、5年間で望ましい。
- ・行政の方針の一貫性や、指定管理者の安定性が担保できるのであれば、5年間で望ましい。
- ・3年間というのは、ようやく下地が整う期間であるため、短いと感じる。

### ③指定管理委託料について

- ・専門的な知識や技能を持つ職員を配置するには、それなりの人件費を確保する必要がある。
- ・スタッフの勤務形態や委託業務の仕様によるが現在の指定管理委託料からはかなりの上乗せが必要だと試算している。
- ・PCや周辺機器などについては、更新費用の計上が必要である。

## ○自由記入欄

- ・市と指定管理者で、課題観と目標を常に共有することが最も重要である。
- ・現在、地域活動団体においてもビジネス感覚がなければ活動が立ち行かない時代になっている。プラザで実施する事業においては、会計や起業など、経営面からの支援も実施すべきであると考えている。
- ・現在、まちづくりは多様な主体の関与・参画によりその活力を連結し、まち全体の活気・魅力を向上するというプロセスが主流になっている。プラザにおいても、登録団体を他のセクターとつなぐ役割が一層求められるのではないかと。